

第3回「高校生ホテル」実践報告

1 はじめに

本校は、地域社会との様々な連携を通して、将来地域社会にとって有為となる人材の育成に努めている。2年生からの情報類型システム活用コースでは神戸市内に所在する企業と連携し、百貨店の夏祭りイベントや、ファッションショー、旅行社とバスツアーの企画運営を行うなど、実践的な取組に努めてきた。

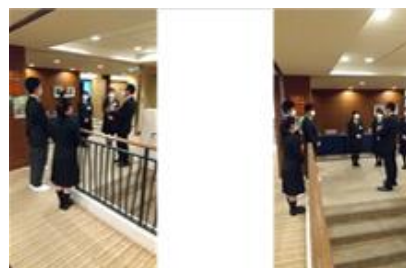
その取組の1つに従業員なしでホテル運営を行う「高校生ホテル」が今年で3回目を迎える。観光立市である神戸市で「高校生ホテル」実習を実践することで、サービス業の知識や技能の向上、職業観の育成を図り、自ら考え行動し、組織の一員として役割を果たし、将来地域に根付く人材を育成することをねらいとしている。

今年度はコロナ禍における様々な制約の中、昨年度より少し規模の縮小はしたものの、創意工夫し、充実した取組となった。ここでは、生徒の活動の様子と感想を紹介したい。

2 実施概要

- (1) 日程 令和3年11月4日(木)・5日(金)
- (2) 場所 公立学校共済組合神戸宿泊所
ホテル北野プラザ六甲荘
- (3) 対象 情報類型システム活用コース
2年生73名
- (4) 内容 フロント、ベルボーイ、コンシェルジュ、レストラン、洗い場、清掃の6部署に分かれ1泊2日のホテル運営を行った。

3 研修風景





4 高校生ホテル当日の様子



＜R3 年度ディナーメニュー＞

ラタトゥイユと温泉卵

淡路島産玉葱のポタージュ

真鯛のオープン焼き
～フルーツトマトとオリーブのソース～

シャーベット

牛フィレのステーキ
～赤ワインソース～

胡桃のタルト 梨のコンポート添え

パンとバター

コーヒーor 紅茶

5 生徒感想

「高校生ホテルを終えて」

高校生ホテルに興味があり、接客をしてみたいと思ったのでレストラン担当として参加しました。

一回目の研修では挨拶や歩き方、案内の練習などとても基本的なことから始めました。

二回目の研修からお客様の前に立ちました。最初は緊張して言葉が出ず、友達や先生と練習して上手くできてもお客様がいたら頭が真っ白になって不安になりました。でも、だんだんと要領がわかって自信が持てました。本番までに飾りを作ったり、食器を選んだり何もかも自分で準備をして大変でしたが、お客様に喜んでもらおうとみんなで頑張りました。

当日、ホテルの制服に着替えたとき気が引き締まりホテルマンになったように感じました。レストランが始まり、たくさんのお客様が緊張していましたが、すぐに慣れて接客することができました。常に周りを見て飲み物の追加を聞きに行くタイミングなど自分で判断し、仕事を

しました。忙しい中でもレストラン担当のみんなと声を掛け合って協力できました。私は翌日の朝食のとき厨房で料理のお手伝いをしていました。前日の緊張からか疲れがありましたが、接客をしていた同級生が、「おはようございます！」と挨拶をされていてよい気持ちになりました。無事に二日間が終わり、お客様から温かい言葉をいただきとても嬉しかったです。

この高校生ホテルを通して、自分から仕事を探して積極的に動けるようになりました。

また、人への言葉遣いを意識できました。二日間があつという間に終わり、30時間の研修までもが、一瞬の出来事だったように思えます。丁寧に優しく指導していただいたホテル北野プラザ六甲荘の皆様に感謝しています。今回の貴重な経験や終わった後の達成感を忘れることはありません。参加して本当に良かったです。

「高校生ホテルを終えて」

私はフロントのお仕事をさせていただきました。高校生ホテルに参加しようと思ったきっかけは、父も母もホテル勤めでどんなことをしているのか気になったからです。フロントを選んだ理由は、一番お客様と接する機会が多い場所だからです。

いざ体験してみると、正直想像を遥かに超えるくらいしんどかったです。普段授業を受けているときは座っているし、何時間も立っていることがなかったので、研修中正しい姿勢を保ちながら立っていることが何よりも苦痛でした。コロナの関係で補助券や割引クーポンなどができ、覚えることも増えました。更にフロントの仕事はチェックイン、チェックアウトの仕事だけではなく、タクシーを呼んだり、朝が早い人にモーニングコールが鳴るように設定したり、車のカギを預かったり他にもたくさんの仕事がありました。例年より、研修時間も少なかったため、本番が近づくと同時に不安と緊張が出てきて、焦っていました。いつも学校で普通に話している先生も、この日はお客様として接し、恥ずかしい部分もありました。でも一人ひとり

のお客様を大切に、効率よく接客が出来るように、同じフロントメンバーと協力することができました。お客様に「ありがとう」と言ってもらえることがすごく嬉しかったです。フロントとレストランが、一番研修時間が長く、しんどい中一緒に味わうことができ、すごく絆が深まりました。

高校生ホテルを通して、「ありがとう」の言葉がどれだけ言われて嬉しい言葉なのか、ものすごく実感しました。そして何より、お客様として来てくださった先生方や保護者の方、ずっと研修を見守ってくれた先生、協力して下さったホテルの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。神港橋でしかできない貴重な体験ができたので、学んだことを活かしながら将来につなげていきたいです。

6 おわりに

高校生ホテルは今回で3回目を無事終えることができた。令和4年度より新学習指導要領が学年進行により実施される。本校では新科目「観光ビジネス」をイメージし、授業にあたってきた。

新科目「観光ビジネス」の学習目標は新学習指導要領によれば、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。

(2) 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。」

とある。しかし、現状では放課後を利用し、参加可能生徒が参加している。本来ならば対象クラス全員で取り組みたいところではあるが、キャパシティの問題や引率者の時間的制約など

課題を多く残すことになった。今後、高校生ホテルのあり方や、新学習指導要領の目標に合致する取り組みを研究し、検討をしたい。

ここ数年のコロナ禍の中、観光ビジネスの取り巻く環境は非常に厳しい状況である。そのようななか、生徒の受け入れや指導等に奔走頂いたホテル北野プラザ六甲荘様に、この場を借りお礼申し上げたい。

